

# JUMP

第37号

令和8年2月13日(金)



## 都立一般入試まであと一週間!!



東京都立入試まで、いよいよ残り1週間となりました。これまで積み重ねてきた皆さんの学習の成果を発揮する大切な時期です。各教科のテストの出題傾向をしっかりおさえ、実際に過去問に取り組む段階に入っている人も多いと思います。時間配分や解く順番など、本番を意識しながら取り組んでいきましょう。

2月9日(月)には、各都立学校の倍率が公開されました。自分が志望する学校の倍率を、あらためて確認してみてください。合格を目指すうえで、倍率が気になるのは当然のことです。しかし、試験本番は周りとの勝負ではなく、自分との勝負です。これまで努力してきた自分を信じ、落ち着いて問題に向き合うことが何より大切です。

残り1週間は、新しいことに手を広げるよりも、これまで学んできた内容を確実に自分のものにする時間です。分からないところをそのままにせず、基本を大切にしながら最後まで粘り強く取り組みましょう。



## 感染症対策を万全に



現在、学校ではインフルエンザが流行しています。みなさんが元気に学校生活を送れるよう、感染症対策を万全にしていきましょう。

学校では、マスクの着用や手洗い・うがいの徹底を大切にしています。登校後や休み時間のあとは、必ず手洗い・うがいを行い、予防を心がけてください。

東京都立入試を控える生徒も多くいます。体調を崩してしまうと、思うように学習が進まなくなることもあります。早寝早起きを意識し、規則正しい生活を送ることが、入試に向けた大切な準備の一つです。

一人一人が自分の体調を大切に、万全の状態ですべてを乗り越えていきましょう。



## 何のために英語を学ぶの？



今回の第37号をもって、丹下が担当する学年だよりは最後となります。最後に、ここでは「何のために英語を学ぶのか」ということについて、少し書きたいと思います。英語を学ぶうえで皆さん一度は、「Google翻訳みたいな便利な機械があるのに、どうして英語を勉強するの？」と疑問に思ったことがあるかと思います。確かに、分からないことを調べたり、その場の会話を補ったりするうえで、翻訳機は有用なツールです。

では、言語とは私たちの日常生活でどのような役割を果たしているのでしょうか。私たちは言語を通して世界を理解し、物事を考えています。日常生活において、言語をまったく介さずに思考することはほとんどありません。つまり、言語と思考は連動しているのです。このように考えると、言語は単なるコミュニケーションの道具にとどまらないことが分かります。

次に、文化について考えてみましょう。文化とは、人間の生活の中から生まれてくるものです。そしてそれは、人間の思考の産物であると言えるでしょう。そうして生まれる生活様式や価値観は当然、世界中で異なります。そうした違いに触れたとき、私たちは自分たちの文化が決して普遍的なものではないことに気づきます。そうした異文化を理解する過程において、翻訳機を通したやり取りだけでは、その言葉の背景にある微妙なニュアンスや人々の感情まですべてを感じ取ることは難しいでしょう。意味を「理解する」ことはできても、相手の思いを直接「実感する」ことは容易ではありません。ここに、日本語とは異なる言語を学ぶ大きな意義があります。

とはいえ、学校で英語を学ぶ中で、すぐにこうした意義を実感することは簡単ではありません。しかし、日々の学習の積み重ねは、確実に皆さんの世界を広げています。英語を通して多様な思考や文化に触れ、自分自身の視野を広げていってほしいと願っています。



## 来週の予定



日にち	予定
2月16日(月)	
17日(火)	①②④⑤総総 5・6校時:金融教育
18日(水)	
19日(木)	地域未来塾 16:00~18:00
20日(金)	地域未来塾 16:00~18:00